

私の好きなガラス①—シカゴアートとフィッシャーについて

ガラスにはたくさんの思い出がある。巡り会って作品に生かされた時の喜びは大きく光を通し思い通りの効果を得たときは格別である。ある時手に持ったシカゴアートのリングモトルのガラス、赤と濃いブルーの大胆な動きのあるリップルは、火山の噴火を思い起こさせるような、一枚。カットするのが惜しい、一幅の絵の様であった。これは後に、パネルの岩になり木の幹になり私の作品の一部となった。オールドシカゴの懐かしい板であった。

また某所でフィッシャーの厚さ10ミリの部分を持つ破損した板を見つけた。ピンク、イエロー、ブラウン、パープル、ブルーオンクリアーという5層吹き、超豪華版である。そのガラスを生かした図案が浮かび3曲の屏風が出来た。悠久の地に光が差し込むイメージの図案を[夢想]と題した。大地にはレッドオンブルーのフィッシャー、そしてフリーモントのオパックホワイトで茂る葉を描いた。その作品にはそれ以後捜しても見つからなかったフィッシャー、レッド・ストリーキーミラー仕上げとシカゴアート、ストリーキーレッドのリップルイリデンスを使い息づく光に仕立てた。私にとって始めての大作であり、このガラス達あればこそという作品であった。これらのガラスに出会えた事を感謝している。また同じ頃買い求めたガラス、フィッシャーのイエロー・アンバー・ブルー・グリーンオンクリアー、いつかこの板を地に生かしたいと思い続け今年1枚のパネルができた。題は[混沌]そしてフィッシャーに——と副題をつけた。オパックイエローとクリアアンバーに絵付けをして、思考の混沌とした様を表し、ダークとライトのルビーを意識の輪と感情に見立てた。フィッシャー6枚を私なりに使い仕上げた。これらの思い出と共にある板ガラスは、全て20年以上前に出会ったガラス達である。揺れる光の乱反射が色彩と音を奏で透明な幻想へ誘う。リンズ、シュリッツ、ハートレーウッド、まだまだ話は尽きない。

メンバー紹介 その2

(アルファベット順)

船越 文恵 (アトリエ F)

JSGaAへの入会は 私にとって背伸びをしながら一歩足を踏み入れたようで喜びと期待と不安で胸いっぱい今後の活動を楽しみにしています。

ガラスを通しての光の輝きと温かさ、心の潤いと安らぎ そんなスタンドグラスの素晴らしさを多くの人達に伝えてあげたいです。

(次ページへ続く)

後藤 栄 (stained party)

ガラスの透明感に魅かれて、ここまで来ました。スタンドグラスをしていて良かったと、つくづく思います。素晴らしい人達との出会いを大切に、日々、努力と勉強し、今よりもっと向上出来る様頑張りたいです。

木村 ちか子 (スタンドグラスアトリエ K)

上の娘が幼稚園の頃、娘の通うバレエスタジオの小さなバレリーナのパネルを依頼され娘が喜んでレッスンに通ってくれることを願い懸命に制作した頃から早や18年の月日が流れました。今又、そのバレエスタジオの白鳥の湖の制作を終えたばかりです。これからも周りの方々の温かな応援を支えに全力投球で歩んでいきたいと願っております。

北田 峰子 (スタンドグラス工房 明里)

ガラス素材で自己表現をする。それが他人の心に通じ共感してもらえる。心安らぐ空間を演出する。ささやかながらも技術の伝承ができる。楽しい仲間がいる。スタンドグラスがくれた恩恵です。

田所 孝一 (スタンドグラス工房 K. T)

従来のカップ・ケーム手法に加えて吹きガラス・フュージング・サンドブラスト等を加えた変化のある表現によってスタンドグラスにより一層大きな関心を与えることにより広く一般の人にスタンドグラスを認識してもらいたいという願望を持っております。

ホームページ開設しました

アドレスはこちら



<http://jsgaa.org/>

協会設立の目的、会則のほか会員情報、展示会のお知らせ、盛りだくさんの内容で広く社会に情報発信していきます。みなさまからのアクセスをお待ちしております。担当者 高橋春恵 (スタンドグラス オカモト)

本協会への入会、お問い合わせは事務局及び各会員までお願いします。

発行日 2009年9月1日
発行者 日本スタンドグラス作家協会
(事務局) 〒165-0034 東京都中野区大和町3-20-1-701
林 晶子 (A工房)
編集者 〒841-0004 佐賀県鳥栖市神辺町1589-3
櫻井 由美 (スタンドグラススタジオ Ys COMET) TEL0942-84-5546

日本スタンドグラス作家協会
会報誌

JSGaA

第2号
第2号

2009年9月 Vol.2



ひまわり Harue Takahashi

会長のおことば

こんにちは! 皆様の輝いた笑顔にお目にかかれて、とても嬉しいです!

今日は新しいメンバーを迎えることが出来ました。そして私たちも、正式にメンバーカードが発行されたのです。私たちは契りを結んだ仲となりました。

さあ、これから思いっきり、心の詩を光で謳いあげましょう。

思いっきり叫んでいいのです。仲間がいるから・・・大丈夫。

誰かが引っ張ってくれますよ。今日も机を囲んで話し合いました。

昔ガラスが生まれた海辺の声、間もなく深い森の中で育ち、炎の中で美しい色に変わっていったガラスのことを。その後、ガラスの精は私たちの心に棲みはじめました。

作家もメーカーさんたちも交えて話しているうちに、私たちの心が躍動し始めました。明日に向かって今日も燃えている私たちです。

これからも私たちは、真理に向かって純粋に制作に邁進してゆきたいと思います。

何卒、宜しくお導き下さいますようお願いいたします。

会長 三浦啓子 (株式会社クレール・デザイン)

臨時総会

2009年6月25日(木)銀座教会東京福音センターにおいて臨時総会を開催しました。

メンバーの紹介 本会で担当している業務、日頃の制作活動を自己紹介。それぞれの得意とするところ、これからやりたいこと、みんな個性いっぱいです。

会員証の授与 三浦会長から会員証が手渡され和やかななかにもメンバーとしての自覚を改めて感じた瞬間です。(写真①)

会計報告 会計担当の桑原田鶴(アリエ・ラ・ミユル)さんから2009年3月期の会計報告と今期の入出金状況及び今後の主な予定について報告がありました。

京都 2009 京都展企画実行委員長の江島美恵(アリエ スイス)さんから一般の出展者募集についての詳細と展示のプランニング、図録作成に関する説明が行われました。

懇親会 株式会社田中アートガラスの田中社長、サゴバン・ハングラス・ジャパン株式会社の須藤様をお迎えして懇親会をいたしました。(写真②)世界各地のガラス工場の多くが人里離れた場所にあること、ガラスの色を出すための鉱物についての話、私たちがステンドグラスのすそ野を広げ需要を増やすことでガラスの質の向上や安定した生産供給につながるなど興味深い話はつきませんでした。



(写真①)



(写真②)

展覧会のお知らせ

JSGAA 日本ステンドグラス作家協会展 京都2009

テーマ「Emotion 感動」

会場 京都文化博物館別館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

期間 2009年10月20日(火)～25日(日)